

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第62回（通算第141回）定例会 会議録

- ◆日時：令和4年2月15日（火） PM7：15～8：15
◆場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
◆出席者：14名 + オンライン 4名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：15～20：15】

19：15～ 開 会

19：15～19：20 情報提供
・ヤマシタ通信
・南和歌山 MC 主催第27回地域医療連携カンファレンス

19：20～19：40 わたしの仕事を知ってください
「まごころサポート 田辺くるむ店」

19：40～20：15 研 修
「新型コロナ 再確認」
講師：田辺圏域医療と介護の連携を進める会 初山 昌平氏

20：15 閉 会

【しごと紹介】

●「まごころサポート」田辺くるむ店

・まごころサポート

全国で加盟店120店舗以上のフランチャイズチェーン

少子高齢化が進み、地域のつながりが希薄になり過疎化が進んでいる。「自分たちのまちの課題は自分たちの手で何とかすべき」との声もあり、『今までの経験を活かし、障害のある方だけの相談ではなく、地域で困っておられる方に寄り添う』ために、この事業に取り組むことに。

・まごころサポート

シニアも含め困っている方の要望をかなえるコンシェルジュ事業。『どんなお困りごとでも解決できるような存在（＝ドラえもん）』を目指す。

サポートできることは「法律に抵触しないことすべて」

（例）誰でもできる簡単なお手伝い：電球交換・お墓の掃除・買い物代行・草引き・ゴミ出しなど

専門職の紹介：エアコン清掃・引っ越し・家電の買い替えサポート など
物販サポート

費用：20分 500円

依頼をたくさんもらうよりも、信頼関係。「ありがとう」や「助かったよ」「シニアの笑顔」が自分たちが目指すしごと

・本部一押し「マゴコロボタン」

コンセントにつなぐだけで、携帯電話の電波が届くところなら、ボタンを2回押すと本部に連絡がいき、折り返し電話があるという仕組み。生活サポートの一環。簡単操作とよびかけで安心安全な暮らしができるようにするボタン型のシステム。

月額利用料 980円 で初期費用が掛からず使える。特別な工事は必要なし

⇒介護保険外の高齢者の生活を支える資源としてご活用ください。

【研修内容】

●田辺保健所からのメッセージ

別紙のとおり

・濃厚接触者へのサービス提供スキルの徹底

⇒感染対策マニュアルの再確認

①サービス提供時は換気を徹底する

②濃厚接触者には、フェイスシールドを含む装備で感染防護する

③感染から身を守るガウンテクニックを習得する

・陽性者が発生した際の対応に備える

⇒患者発生時の保健所の対応の概要についてまとめた資料を参考に、陽性者発生に平時から備えてください

●「新型コロナ 再確認」

・新型コロナウイルス変異株。ウイルスの変異は珍しくなく、約2週間に1回のペースで変異を重ねている。デルタ株は感染者が5日で倍、10日で4倍に増加だったが、オミクロン株は2日で倍、4日で4倍、10日で32倍に。感染の広がりやすさは3倍近く。

・オミクロン株で見られる症状

発熱：66.6%、せき41.6%、全身の倦怠感22.5%、頭痛21.1%、咳以外の呼吸器症状12.9%、吐き気や嘔吐2.7%、下痢2.3%、嗅覚障害や味覚障害0.8%

・世代時間（感染後、ほかの人に感染させるまでの期間）

デルタ株：約5日、オミクロン株：約2日。これが急速な感染拡大へ

・濃厚接触者

新型コロナウイルスに感染していることが確認された方と近距離で接触、あるいは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方を指す

近距離・長時間 ⇒1m程度以内、15分以上、発症の2日前から

マスクなどをつけずに対面で互いに手を伸ばしたら届く距離で15分以上接触があった場合

最終判断は保健所の積極的疫学調査後、個別に判断される

感染者がマスクの着用や手の消毒など周囲に感染させない対策をとっていた場合は、原則濃厚接触者にはならない

・濃厚接触者の待機

1月28日から、陽性者とさいごに接触した日を0日として7日間

エッセンシャルワーカーは4日目と5日目に抗原検査をして陰性が確認されれば、5日目から待機解除

・エッセンシャルワーカー

該当するかどうかは自治体が判断する

具体例：医療従事者や警察・消防、高齢者や障がい者の生活に必要なサービスを提供する事業者、電気・ガス・水道などインフラに関わる事業者、食料品など生活必需品の供給に関わる人達など

・接触者

オミクロン株の感染拡大防止のため、厚生労働省は、“濃厚接触者には認定されていなくても、職場や学校などで感染者の近くにいた人は「接触者」として検査などを呼びかける”よう都道府県に通知した

接触者は検査結果が陰性であれば、待機は必要なし

・抗原検査

陽性であれば新型コロナ感染。陰性の場合には確定診断のためにPCR検査を行う必要がある無症状者に対するスクリーニング検査目的の検査としては適切でない
退院判定には適さない

	意義	検体	長所	短所
PCR 検査	今感染しているかどうかを判定	鼻咽頭拭い液 喀痰など	感度が高い	結果までに時間がかかる(約6時間)
抗原検査		鼻咽頭拭い液	短時間(約30分)で判定可能	感度が低い
抗体検査	過去の感染の有無を判定	血液	感染症流行の全体像を把握できる	偽陽性が起こり得る

・ワクチン接種による入院を防ぐ効果

2回接種後2～24週経過で入院を防ぐ効果は72%あるが、25週以上経過すると52%に。3回目接種をすることで、88%に。

・ワクチンの交互接種

有効性(接種から15日目の中和抗体の値：アメリカでの研究結果)

1回目	2回目	3回目	接種前比
モデルナ	モデルナ	モデルナ	10.2倍
モデルナ	モデルナ	ファイザー	11.5倍
ファイザー	ファイザー	ファイザー	20倍
ファイザー	ファイザー	モデルナ	31.7倍

副反応(アメリカペイラー医科大などのグループの発表)

	3回とも ファイザー	2回ファイザー 3回目モデルナ	3回とも モデルナ	2回モデルナ 3回目ファイザー
部位の痛み	85%	72%	76%	62%
倦怠感	77%	56%	76%	62%
頭痛	50%	52%	44%	48%
寒気	15%	28%	40%	3%
発熱	8%	8%	16%	3%

・国内で承認されている新型コロナ治療薬

①レムデシビル(抗ウイルス薬) ②デキサメタゾン(ステロイド剤) ③バリシチニブ(炎症を抑える薬) ④トシリズマブ(炎症を抑える薬) ⑤カシビリマブ・イムデビマブ(中和抗体薬) ⑥ソトロピマブ(中和抗体薬) ⑦モルヌピラビル(抗ウイルス薬)

※⑤～⑦はコロナ用に開発された薬

・「密集」「接近」「密閉」を避ける

※定例会開催にあたっての感染症対策

- ・体調確認と非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒
- ・マスク着用
- ・定例会後の机、いすの消毒
- ・換気
- ・ZOOMを活用したオンライン研修

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和4年3月15日（火） 午後7時～

場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

内容：研修 未定